

ご利用までの流れ

新たにはち丸ネットワークをご利用される医療機関・介護事業所等は、以下の手順によりお申込みください。

【施設登録申請方法】

はち丸ネットワークホームページより、施設登録申請を行う。

はち丸ネットワーク | 🔍 検索

(もしくは右記の二次元コードを読み取り)



接続設定に関する案内メール
(証明書取得情報/ログイン情報)
が届き次第、利用端末に設定する。

利用開始



サービス提供体制



「はち丸ネットワーク」の運営

一般社団法人名古屋市医師会

連携

医療・介護・健診情報等の提供

名古屋市

運営

名古屋市はち丸在宅支援センター
「はち丸ネットワーク」受付窓口

契約

「はち丸ネットワーク」のサービス提供

中部テレコミュニケーション株式会社

【お問い合わせ先】〒461-0005 愛知県名古屋市東区東桜1-4-3 大信ビル2階

名古屋市はち丸在宅支援センター

電話:052-971-0874(代) 受付時間:平日 9時~17時(土日祝、年末年始を除く)

医療・介護連携ネットワーク

はち丸ネットワーク 参加のご案内

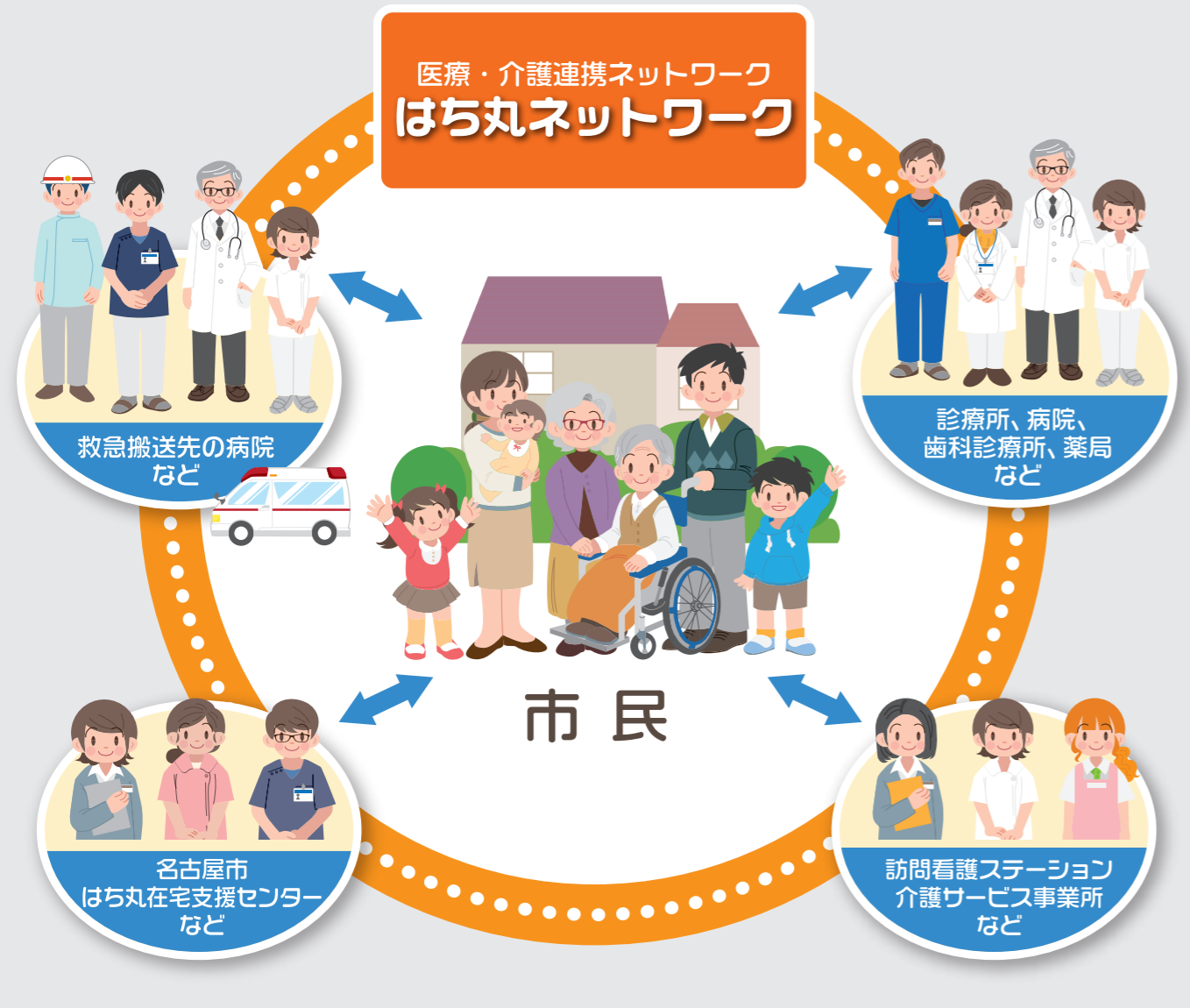


一般社団法人 名古屋市医師会
Nagoya Medical Association

はち丸ネットワークとは

『はち丸ネットワーク』は、市民の同意に基づき、その人が受けた医療・介護・健診情報をネットワークを通じて医療機関・介護事業所等が閲覧・共有することにより、迅速で適切な医療・介護の提供へつなげることを支える仕組みです。

イメージ図



患者がはち丸ネットワークに登録すると…

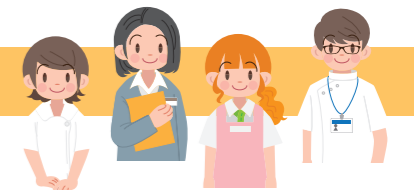
○ もしもの救急搬送時に安心

緊急時に登録患者の医療・介護・健診情報等が、医療機関等に伝わることにより、迅速で適切な治療につながります。

○ 医療・介護チーム内の迅速な情報共有につながる

多くの職種に支援してもらっている療養者の場合、連携しているメンバー間の迅速な情報共有により、適切な医療・介護の提供につながります。

はち丸ネットワーク参加施設での活用



○ 多職種間での情報共有

多くの職種で療養者を支援している場合、連携しているメンバー間での情報共有ができます。

○ 国民健康保険・介護保険情報の確認

登録患者が国民健康保険・後期高齢者医療制度、介護保険等を利用した場合、その情報を確認することができます。

「はち丸ネットワーク」で閲覧・共有できる患者情報

1 共通情報

氏名・生年月日・住所・性別・電話番号（緊急連絡先を含む）

2 医療情報（国保・後期高齢者医療分）※

医療機関名、傷病名、投薬、歯科医療機関名、薬局名、調剤（医薬品名）

3 介護情報（介護保険分）※

要介護度、認定期間、サービス事業所名

4 健診情報※

特定健診情報（国保分）、後期高齢者健康診査情報

5 その他、医療機関、介護事業所等が提供したデータ

※登録患者が、国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険を利用した際の情報が閲覧可能。

患者がはち丸ネットワークに登録するためには…



○ 名古屋市はち丸在宅支援センターから「参加同意書」を取り寄せていただくか、「はち丸ネットワーク」ホームページより「参加同意書」をダウンロードしてください。

○ はち丸ネットワーク参加施設より、登録を希望される患者への説明と同意取得をお願いします。

○ 患者から「参加同意書」を受け取り、はち丸ネットワーク参加施設にて被保険者番号等の記載がされているかのご確認および受付施設記入欄をご記入ください。

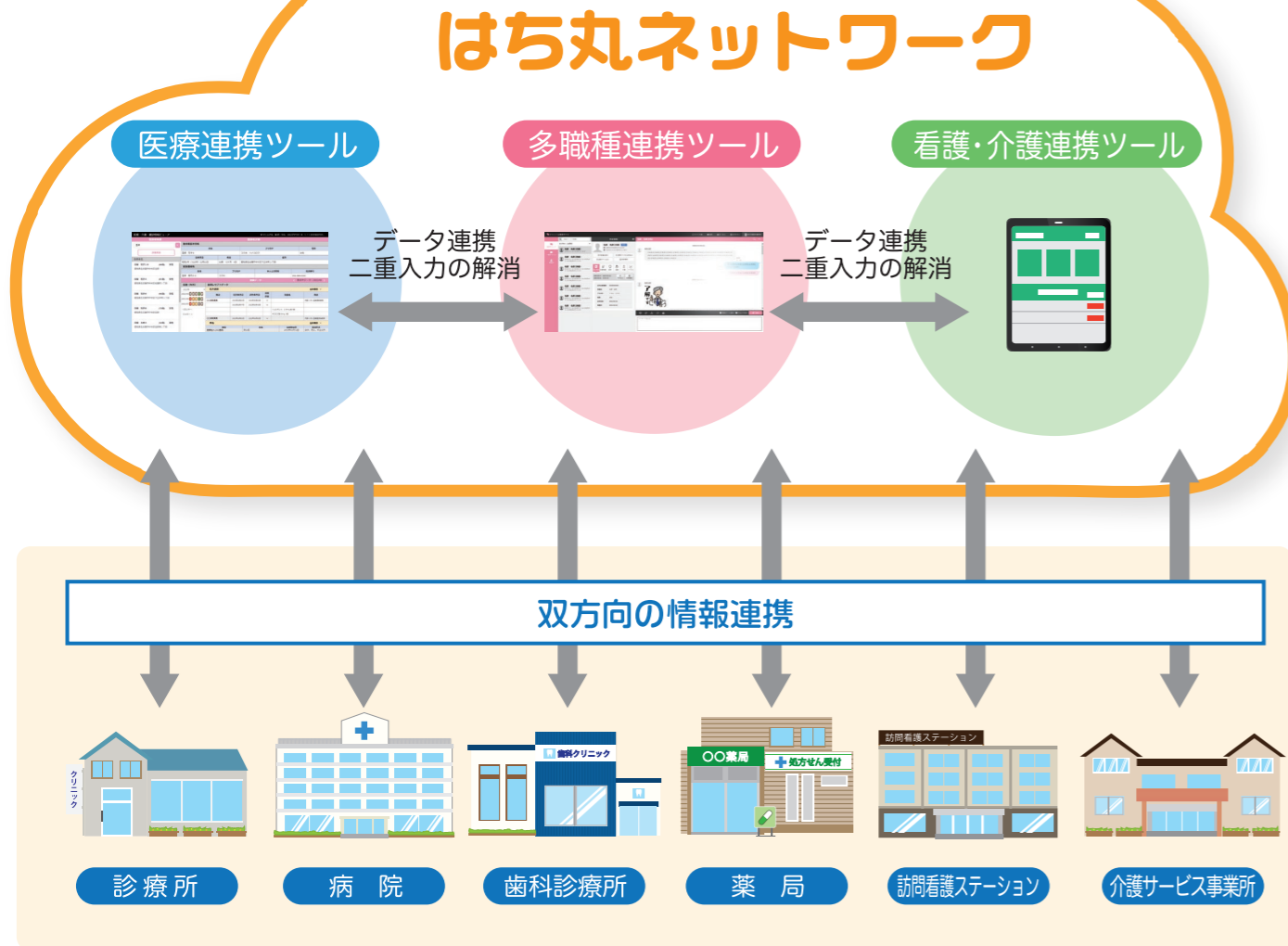
○ 「参加同意書」は、名古屋市はち丸在宅支援センターへご提出ください。

○ 名古屋市はち丸在宅支援センターにて、「参加同意書」に基づき、はち丸ネットワークに患者を登録します。

はち丸ネットワークの概要

はち丸ネットワークは主に
3つの機能で成り立っています

サービス提供イメージ図



多職種連携ツール

多職種間において
情報を共有することが可能です。

詳細は
P5-P6
ご参照

【主な機能】

- 患者チャット機能
- 一般チャット機能
- 災害チャット機能



医療連携ツール

～医療従事者向け～
複数の施設で医療情報を共有
することが可能です。

詳細は
P7-P8
ご参照

【主な機能】

- 診療情報ビューア機能
- 医療・介護・健診ビューア機能



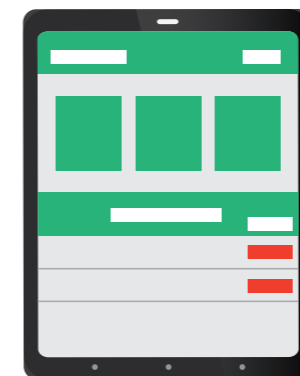
看護・介護連携ツール

～訪問看護・介護事業所向け～
多職種連携ツールへの二重入力を
解消することが可能です。

詳細は
P9-P10
ご参照

【主な機能】

- 訪問(巡回)介護、看護記録機能
- 記録紙作成支援機能
- 多職種連携ツールデータ連携機能



多職種連携ツール



「多職種連携ツール」は、チャット形式で手軽に情報共有が行えるコミュニケーションツールです。メッセージの送受信に加え、画像やPDF等の資料共有にも対応しており、個人間・グループ間で円滑に連絡を行うことができます。登録患者を中心とした医療・介護・福祉関係者間の情報伝達を効率化し、スムーズな業務連携を支援します。

患者チャット、一般チャット（グループチャット／個別チャット）、災害チャット（災害時応援要請チャット／災害用情報共有チャット）を利用できます。

便利な機能

- 文字だけでなく、Word、Excel、PDF等の文字ファイル、写真、動画等の共有も可能
- 在宅医療介護連携サマリの作成・共有が可能
- チャットルームにラベルを設定することで、チャットルームの分類や絞り込みが可能

※その他にも便利な機能があります。

画面イメージ

■WEB版 (パソコン)

■WEB版 (モバイル)

■WEB版 (モバイル)

■モバイルアプリ版

チャットについて

【患者チャット】

■ 患者チャットは、患者の同意に基づきチャットルームを作成し、当該患者を支援する医療・介護・福祉関係者間での情報共有や連携ができます。

【一般チャット】

■ グループチャットは、地域や団体単位でチャットルームを作成し、当該チャットルームに関係する医療・介護・福祉関係者間で、情報共有や意見交換を行うことに活用できます。(要申請)

■ 個別チャットは、はち丸ネットワークに参加している医療・介護・福祉関係者間でチャットルームを作成し、情報共有や意見交換を行うことができます。

【災害チャット】

■ 災害時応援要請チャットは、災害時に在宅療養者への医療・介護サービスの提供等について応援要請を行うことのできるチャットです。

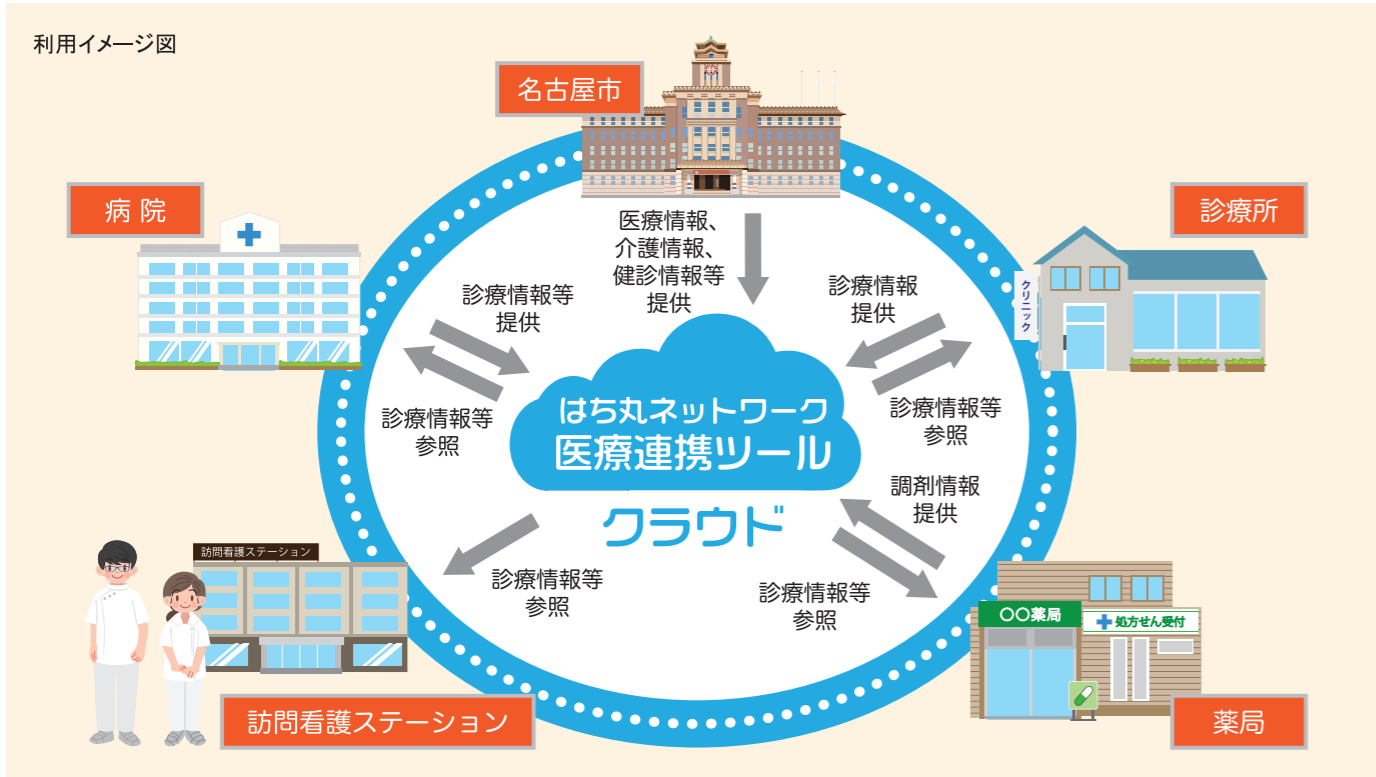
■ 災害に関する情報共有チャットは、災害に関する情報共有に活用できます。職能団体等が情報発信をする全体ページと、全ユーザーが閲覧・投稿可能な各区ページで構成されています。



災害チャットに関する詳しい内容は
二次元コードよりご確認ください。



「医療連携ツール」は、医療機関・薬局等から連携される電子カルテデータや調剤データその他、名古屋市より取得する医療・介護・健診等に係る保険情報を医療関係機関間で情報共有することができます。



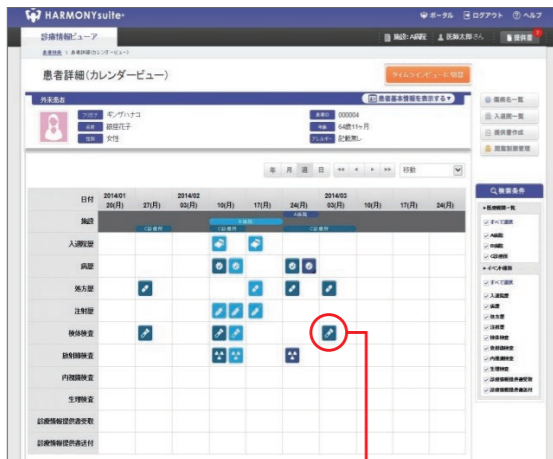
主な機能

診療情報ビューア

- 1 入退院歴
- 2 病名
- 3 処方歴 (オーダー・実施)
- 4 注射歴 (オーダー・実施)
- 5 検体検査 (オーダー・実施)
- 6 放射線検査 (オーダー・実施)
- 7 内視鏡検査 (オーダー・実施)
- 8 生理検査 (オーダー・実施)

※SS-MIX2で提供されたデータ

【カレンダービュー】



クリックすると表示します。

【表示例(検体検査・結果)】

検査項目名	結果値	基準範囲	グラフ表示
血小球数	19.5 ン/MCL	12.0 ~ 35.0	グラフ
ヘマトクリット	41.7 %	33.4 ~ 44.9	グラフ
MCH	30.2 PG	26.3 ~ 34.3	グラフ
MCV	96.1 FL	79.0 ~ 100.0	グラフ
白血球数	52 X100/MC	35 ~ 91	グラフ
HbA1c	5.9 %	4.3 ~ 5.8	グラフ
血色素量	13.1 G/DL	11.3 ~ 15.2	グラフ
赤血球数	434 ン/MCL	376 ~ 500	グラフ
MCHC	31.4 %	30.7 ~ 36.6	グラフ
ビリルビン(定性)	(-)	(~)	グラフ
グロブリン(定性)	(-)	(~)	グラフ
ウロビリノーゲン(定性)	(+)	(+ ~)	グラフ
潜血反応	(-)	(~)	グラフ

医療、歯科、調剤のレセプト情報、介護情報、健診情報をビューアに表示します。

【表示例(健診データ)】

履歴(年月)	健診結果データ
2022年	実施情報
2022/09	健診実施年月日
2022/08	施設
2022/07	健診結果
	検査項目
	検査値
	身長 [cm]
	体重 [kg]
	BMI
	内臓脂肪面積 [cm ²]
	腹囲 [cm]
	収縮期血圧 [mmHg]
	拡張期血圧 [mmHg]
	中性脂肪 [mg/dl]
	HDL [mg/dl]
	LDL [mg/dl]
	GOT [U/l]
	GPT [U/l]
	γ-GT [U/l]
	空腹時血糖 [mg/dl]

【表示例(介護データ)】

履歴(年月)	介護データ
2022年	施設情報
2022/09	施設
2022/08	電話番号
2022/07	住所
	要介護状態
	要介護3
	有効期間開始日
	有効期間終了日

- 1 共通情報
氏名・生年月日・住所・性別・電話番号 (緊急連絡先を含む)
- 2 医療情報 (国保・後期高齢者医療分)
医療機関名、傷病名、投薬、歯科医療機関名、薬局名、調剤 (医薬品名)
- 3 介護情報 (介護保険分)
要介護度、認定期間、サービス事業所名
- 4 健診情報
特定健診情報 (国保分)、後期高齢者健康診査情報

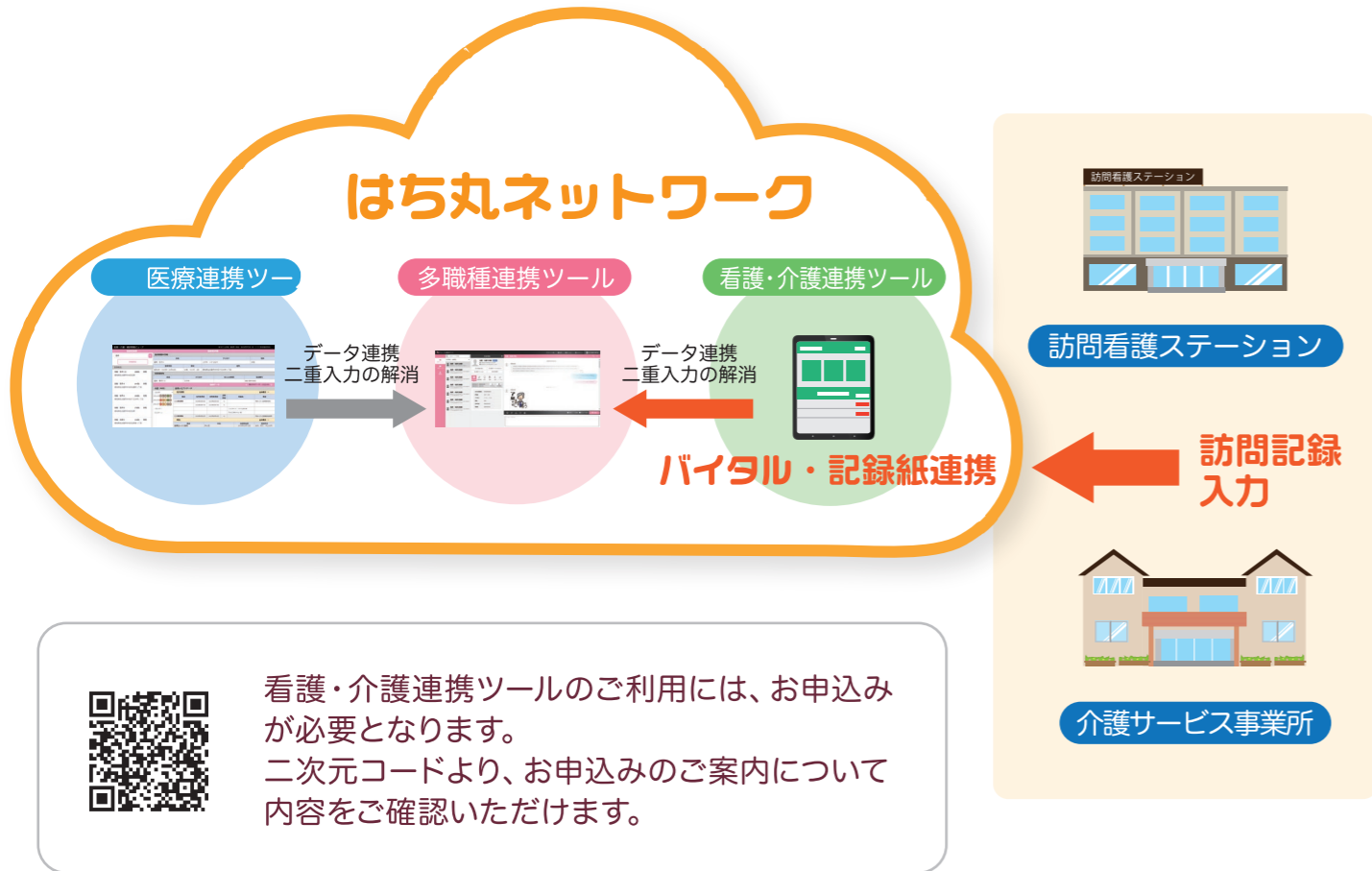
※登録者が、国民健康保険、後期高齢者医療制度、介護保険を利用した際の情報が閲覧可能。



看護・介護連携ツール



「看護・介護連携ツール」は、訪問看護・介護事業所を対象とした二重入力を解消するための業務ツールです。「看護・介護連携ツール」へ訪問記録を入力すると多職種連携ツールへデータが自動反映され、医療・介護・福祉関係者間で情報を共有することができます。また、事業所内での情報共有、請求基幹ソフトとの連携も可能です。



看護・介護連携ツールのご利用には、お申込みが必要となります。二次元コードより、お申込みのご案内について内容をご確認いただけます。

看護・介護連携ツールの主な機能



WEB版 (パソコン)

- 利用者管理
- 訪問記録管理
- 請求基幹ソフト連携
- 職員管理
- 提供票、報告書管理



モバイルアプリ版

- 訪問記録の入力
- 利用者情報の確認

活用イメージ



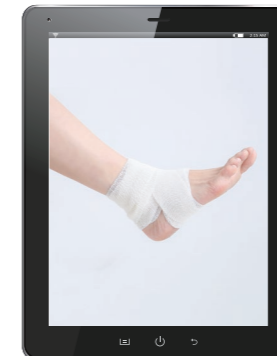
バイタル・記録紙データが多職種連携ツールへ自動連携されます。



経過観察



写真



帳簿類

